

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-78070  
(P2000-78070A)

(43) 公開日 平成12年3月14日 (2000. 3. 14)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

H 0 4 B 7/26

識別記号

F I

H 0 4 B 7/26

テーマコード(参考)

S 5 K 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数16 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号

特願平10-242919

(22) 出願日

平成10年8月28日 (1998. 8. 28)

(71) 出願人 000102728

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

東京都江東区豊洲三丁目3番3号

(72) 発明者 羽瀨 真史

東京都江東区豊洲三丁目3番3号 株式会

社エヌ・ティ・ティ・データ内

(74) 代理人 100095371

弁理士 上村 輝之

Fターム(参考) 5K067 AA21 AA34 BB04 BB22 EE02

EE10 EE22 HH22 HH23 HH24

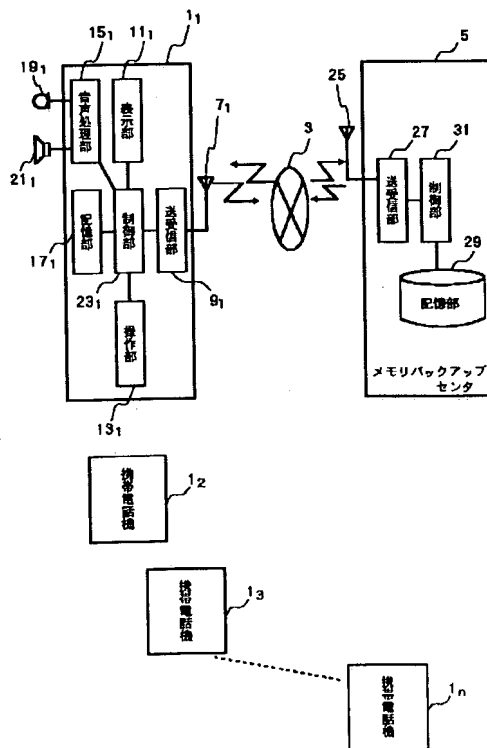
KK15

(54) 【発明の名称】 移動通信機器のメモリバックアップ方式、移動通信機器のメモリバックアップシステム、移動通信機器及び情報送受信装置

(57) 【要約】

【課題】 バックアップ情報を、指定された1又は複数の移動通信機器へ転送することができるようにする。

【解決手段】 操作部131のバックアップ用スイッチを操作すると、携帯電話機11はバックアップデータの転送モードになる。メモリバックアップセンタ5と携帯電話機11とを接続する。携帯電話機11からの電話番号及びパスワードの正当性を制御部31が確認すると、センタ5から転送許可の通知が携帯電話機11に送信される。制御部231は記憶部171のバックアップデータをセンタ5へ転送し、データは制御部31により記憶部29に格納される。次に、操作部131のバックアップデータ転送要求用スイッチを操作すると、携帯電話機11はバックアップデータを受信するモードになる。センタ5と携帯電話機11とを接続する。携帯電話機11からの電話番号及びパスワードの正当性を制御部31が確認すると、センタ5から転送要求に対応するバックアップデータが送信され、それを携帯電話機11側で受信し、それを制御部231が記憶部171に格納する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の移動通信機器と、バックアップメモリを有し、移動体通信網を介して前記各々の移動通信機器に接続される情報送受信装置とを備え、前記移動通信機器が、ユーザからの情報転送指令に応じて、内蔵するメモリに蓄積中の情報を移動体通信網を介して前記情報送受信装置に転送することにより、前記バックアップメモリに蓄積するようにしたことを特徴とする移動通信機器のメモリバックアップ方式。

【請求項 2】 複数の移動通信機器と、バックアップメモリを有し、移動体通信網を介して前記各々の移動通信機器に接続される情報送受信装置とを備え、前記情報送受信装置が、前記移動通信機器から転送された情報を前記バックアップメモリに蓄積すると共に、前記移動通信機器からの情報転送要求に応じて、前記蓄積している情報を前記移動通信機器に転送するようにしたことを特徴とする移動通信機器のメモリバックアップ方式。

【請求項 3】 複数の移動通信機器と、移動体通信網を通じて前記各々の移動通信機器に接続される情報送受信装置とを備え、前記移動通信機器が、与えられた情報を記憶する手段と、ユーザからの情報転送指令に応じて、前記情報送受信装置に前記情報のバックアップを要求し、要求が容れたとき前記情報を送信する手段と、前記情報送受信装置に対し蓄積中のバックアップ情報の転送を要求する手段と、前記情報送受信装置から受信したバックアップ情報を、前記記憶手段に書き込む手段とを有し、前記情報送受信装置が、受信した情報のバックアップ情報としての正当性を判定する手段と、正当と判定されたバックアップ情報を蓄積する手段と、受信した転送要求が正当なものであるとき、前記蓄積手段から前記転送要求に対応するバックアップ情報を読み出して前記転送要求の送信元である移動通信機器に送信する手段と、を有する移動通信機器のメモリバックアップシステム。

【請求項 4】 受信した情報のバックアップ情報としての正当性を判定する手段と、正当と判定されたバックアップ情報を蓄積する手段と、受信した転送要求が正当なものであるとき、前記蓄積手段から前記転送要求に対応するバックアップ情報を読み出して前記転送要求の送信元に送信する手段と、を備える情報送受信装置。

【請求項 5】 請求項 4 記載の情報送受信装置において、前記判定対象になる情報が、移動体通信網を通じて複数の移動通信機器のいずれかから送信されることを特徴と

する情報送受信装置。

【請求項 6】 請求項 4 又は請求項 5 記載の情報送受信装置において、前記正当と判定されたバックアップ情報が、その送信元である移動通信機器を識別可能な状態で前記蓄積手段に蓄積されることを特徴とする情報送受信装置。

【請求項 7】 請求項 4 又は請求項 5 記載の情報送受信装置において、前記移動通信機器から前記情報の送信に先立って送信される電話番号情報及びパスワード情報が正当であると判定されたときのみ、前記判定手段が、前記情報を正当なバックアップ情報であると判定することを特徴とする情報送受信装置。

【請求項 8】 請求項 4 又は請求項 5 記載の情報送受信装置において、前記転送要求が、前記移動通信機器から前記転送要求に先立って送信される電話番号情報及びパスワード情報が正当であると判定されたとき、その正当性を認められることを特徴とする情報送受信装置。

【請求項 9】 請求項 4 又は請求項 5 記載の情報送受信装置において、前記転送要求が、正当でないとして判定されたとき、前記送信手段によるバックアップ情報の送信を禁止するようにしたことを特徴とする情報送受信装置。

【請求項 10】 請求項 4 又は請求項 5 記載の情報送受信装置において、前記送信手段が、正当であると判定された電話番号情報及びパスワード情報を送信してきた 1 又は複数の移動通信機器に、前記蓄積されたバックアップ情報を送信することを特徴とする情報送受信装置。

【請求項 11】 請求項 4 又は請求項 5 記載の情報送受信装置において、前記送信手段が、正当であると判定された電話番号情報及びパスワード情報を送信してきた 1 又は複数の移動通信機器が指定したファクシミリ端末に、前記蓄積されたバックアップ情報を送信することを特徴とする情報送受信装置。

【請求項 12】 与えられた情報を記憶する手段と、ユーザからの情報転送指令に応じて、所定の情報送受信装置に前記情報のバックアップを要求し、要求が容れたとき前記情報を送信する手段と、前記情報送受信装置に対し蓄積中のバックアップ情報の転送を要求する手段と、前記情報送受信装置から受信したバックアップ情報を、前記記憶手段に書き込む手段と、を備える移動通信機器。

【請求項 13】 前記移動通信機器が、移動体通信網を通じて前記情報送受信装置との間、又は互いの間で通信を行う複数の携帯電話機、複数の PHS、複数のポケットベルのいずれかであることを特徴とする請求項 12 記

載の移動通信機器。

【請求項14】 請求項12記載の移動通信機器において、前記バックアップの要求又は前記転送の要求が、移動通信機器に付与された電話番号情報及びパスワード情報と共に送信されることを移動通信機器。

【請求項15】 請求項12記載の移動通信機器において、前記バックアップ情報が、暗号化されてから前記情報送受信装置に送信されることを特徴とする移動通信機器。

【請求項16】 請求項12記載の移動通信機器において、前記バックアップ情報が、電話番号、住所録、行動の日程等の諸情報を含むことを特徴とする移動通信機器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、移動通信機器のメモリバックアップ方式、移動通信機器のメモリバックアップシステム、移動通信機器及び情報送受信装置に関するものである。以下、移動通信機器として、携帯電話機を例にとり説明する。

【0002】

【従来の技術】最近、携帯電話機のメモリに、電話番号や、住所録や、行動の日程などの各種情報を、必要に応じて記憶させる携帯電話機利用者が増加している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上記のような携帯電話機利用者においては、上述した情報を手帳やメモ帳等に記録していないのが一般的である。そのため、上記利用者が携帯電話機を紛失した場合には、それに伴って上記情報も喪失してしまうことになり、紛失した携帯電話機を見付け出さない限り、利用者が上記情報を回復することは困難であった。

【0004】従って本発明の目的は、バックアップ情報を、指定された1又は複数の移動通信機器へ転送することができるようにすることにある。

【0005】また、本発明の別の目的は、移動通信機器を紛失した場合でも、その移動通信機器に蓄積しておいた情報を確実に回復できるようにすることにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明の第1の側面に従う移動通信機器のメモリバックアップ方式は、複数の移動通信機器と、バックアップメモリを有し、移動体通信網を介して各々の移動通信機器に接続される情報送受信装置とを備え、移動通信機器は、ユーザからの情報転送指令に応じて、内蔵するメモリに蓄積中の情報を移動体通信網を介して情報送受信装置に転送することにより、バックアップメモリに蓄積するようにしている。

【0007】上記構成によれば、ユーザが所望したときに上記メモリに蓄積中の情報を情報送受信装置に転送し

て、上記バックアップメモリに蓄積することができる。

【0008】本発明の第2の側面に従う移動通信機器のメモリバックアップ方式は、複数の移動通信機器と、バックアップメモリを有し、移動体通信網を介して各々の移動通信機器に接続される情報送受信装置とを備え、情報送受信装置は、移動通信機器から転送された情報をバックアップメモリに蓄積すると共に、移動通信機器からの情報転送要求に応じて、蓄積している情報を移動通信機器に転送するようにしている。

10 【0009】上記構成によれば、情報送受信装置は、移動通信機器からの情報転送要求に応じて、蓄積している情報を移動通信機器に転送するようにしているので、移動通信機器を紛失した場合でも、その移動通信機器に蓄積しておいた情報を確実に回復できる。

【0010】本発明の第3の側面に従う移動通信機器のメモリバックアップシステムは、複数の移動通信機器と、移動体通信網を通じて各々の移動通信機器に接続される情報送受信装置とを備え、移動通信機器は、与えられた情報を記憶する手段と、ユーザからの情報転送指令に応じて、情報送受信装置に上記情報のバックアップを要求し、要求が容れられたとき上記情報を送信する手段と、情報送受信装置に対し蓄積中のバックアップ情報の転送を要求する手段と、情報送受信装置から受信したバックアップ情報を、記憶手段に書き込む手段とを有し、情報送受信装置は、受信した情報のバックアップ情報としての正当性を判定する手段と、正当と判定されたバックアップ情報を蓄積する手段と、受信した転送要求が正当なものであるとき、蓄積手段から転送要求に対応するバックアップ情報を読み出して転送要求の送信元である移動通信機器に送信する手段とを有する。

【0011】上記構成によれば、ユーザが所望したときに移動通信機器の記憶手段に蓄積中の情報を情報送受信装置に転送して、上記蓄積手段に蓄積することができ、ユーザの所望に応じて蓄積中の情報を情報送受信装置から転送して貰える。

【0012】本発明の第4の側面に従う情報送受信装置は、受信した情報のバックアップ情報としての正当性を判定する手段と、正当と判定されたバックアップ情報を蓄積する手段と、受信した転送要求が正当なものであるとき、蓄積手段から転送要求に対応するバックアップ情報を読み出して転送要求の送信元に送信する手段とを備える。

【0013】上記構成によれば、情報送受信装置は、移動通信機器からの転送要求に応じて、蓄積している情報を移動通信機器に送信するようにしているので、移動通信機器を紛失した場合でも、その移動通信機器に蓄積しておいた情報を確実に回復できる。

【0014】本発明の第4の側面に係る好適な実施形態では、判定対象になる情報は、移動体通信網を通じて複数の移動通信機器のいずれかから送信される。正当と判

定されたバックアップ情報は、その送信元である移動通信機器を識別可能な状態で蓄積手段に蓄積される。移動通信機器から上述した情報の送信に先立って送信される電話番号情報及びパスワード情報が正当であると判定されたときのみ、判定手段は、上記情報を正当なバックアップ情報であると判定する。上述した転送要求は、移動通信機器から転送要求に先立って送信される電話番号情報及びパスワード情報が正当であると判定されたとき、その正当性を認められる。上記転送要求が、正当でない

と判定されたときには、送信手段によるバックアップ情報の送信が禁止される。

【0015】送信手段は、正当であると判定された電話番号情報及びパスワード情報を送信してきた1又は複数の移動通信機器に、蓄積されたバックアップ情報を送信する。

【0016】上述した実施形態の変形例では、送信手段は、正当であると判定された電話番号情報及びパスワード情報を送信してきた1又は複数の移動通信機器が指定したファクシミリ端末に、蓄積されたバックアップ情報を送信する。

【0017】本発明の第5の側面に従う移動通信機器は、与えられた情報を記憶する手段と、ユーザからの情報転送指令に応じて、所定の情報送受信装置に情報のバックアップを要求し、要求が容れられたとき上記情報を送信する手段と、情報送受信装置に対し蓄積中のバックアップ情報の転送を要求する手段と、情報送受信装置から受信したバックアップ情報を、記憶手段に書き込む手段とを備える。

【0018】本発明の第5の側面に係る好適な実施形態

では、移動通信機器は、移動体通信網を通じて情報送受信装置との間、又は互いの間で通信を行う複数の携帯電話機、複数のPHS、複数のポケットベルのいずれかである。バックアップの要求又は前記転送の要求は、移動通信機器に付与された電話番号情報及びパスワード情報と共に送信される。バックアップ情報は、暗号化されてから情報送受信装置に送信される。バックアップ情報は、電話番号、住所録、行動の日程等の諸情報を含んでいる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を、図面により詳細に説明する。

【0020】図1は、本発明の一実施形態に係る移動通信機器のメモリバックアップシステムの全体構成を示すブロック図である。

【0021】上記システムは、図示のように、複数台の携帯電話機11～1nと、移動体通信網3と、メモリバックアップセンタ（センタ）5とを備える。

【0022】各携帯電話機11～1nは、夫々内部構成が同一であるので、本実施形態では携帯電話機11を構成する各部のみを示してそれら各部の動作を説明し、その

他の携帯電話機12～1nについては、それらを構成する各部の図示及び説明を省略する。

【0023】携帯電話機11は、図示のように、アンテナ71と、送受信部91と、表示部111と、操作部131と、音声処理部151と、記憶部171と、マイク191と、スピーカ211と、制御部231とを備える。

【0024】送受信部91は、受信側周波数変換部と、受信側モデムと、送信側モデムと、送信側周波数変換部とを備える。受信側周波数変換部は、アンテナ71が受信した信号を、例えばアンテナスイッチ等の送／受信振分手段を介して入力し、所定の信号処理を施すことにより所定の中間周波数（IF）信号に変換し、このIF信号を受信側モデムに出力する。受信側モデムは、受信側周波数変換部からの上記IF信号を所定の情報に復調し、その情報を受信データとして制御部231に出力する。送信側モデムは、制御部231からの所定の情報を変調して変調波を生成し、これを送信側周波数変換部に出力する。送信側周波数変換部は、送信側モデムからの変調波に所定の信号処理を施すことにより所定のIF信号に変換し、このIF信号を、送／受信振分手段を介してアンテナ71から輻射する。

【0025】表示部111は、例えば携帯電話機11の動作モードや電話番号や通話時間等の各種情報（データ）等を表示するための液晶表示器や、スイッチ類のオン／オフ等を示すLED（発光ダイオード）等から構成されており、制御部231の制御下で上記各種データを表示する。

【0026】操作部131は、例えば通話の相手先の電話番号を入力するための数値キーや、オンフック／オフフックを行うためのスイッチや、音声出力を可変するボリュームスイッチ等を備える。操作部131は、更に、記憶部171に記憶されている各種データをバックアップするためにセンタ5へ転送するときに操作するスイッチ（バックアップ用スイッチ）や、センタ5へバックアップデータの転送を要求するとき操作するスイッチ（バックアップデータ転送要求用スイッチ）をも備える。上述したキーの操作情報や各種スイッチの操作情報は、操作部131から制御部231に出力される。

【0027】音声処理部151は、受信側スピーチコーデックと、受信側PCM（パルス符号変調）コーデックと、送信側PCMコーデックと、送信側スピーチコーデックとを備える。受信側スピーチコーデックは、制御部231からのADPCM音声信号を復号化することにより伸張して受信側PCMコーデックに出力する。受信側PCMコーデックは、受信側スピーチコーデックからのPCM（デジタル）音声信号をアナログ音声信号に変換し、スピーカ211から音声として出力する。送信側PCMコーデックは、マイク191から入力されるアナログ音声信号をPCM音声信号に変換し、送信側スピーチコーデックに出力する。送信側スピーチコーデック

は、送信側PCMコーデックからのPCM音声信号を、ADPCM音声信号に符号化することにより圧縮して制御部231に出力する。

【0028】記憶部171は、ROM及びRAMから構成されている。ROMには、制御部231が所定の処理動作を実行するための制御用プログラムや種々のパラメータ等が格納されている。RAMには、制御部231の処理動作により生成されるデータや、通話先の相手方住所や電話番号のようなデータで構成される住所録や行動のスケジュール等のバックアップする必要がある各種データ（バックアップデータ）が格納されている。なお、RAMはワーキングエリアとしても用いられる。

【0029】制御部231は、送信側通信制御部と、受信側通信制御部と、上記ROMに格納されている制御用プログラムに基づいて各通信制御部の制御動作を監視、制御する演算処理部とを備える。送信側通信制御部は、音声処理部151から出力されるADPCM音声信号

（音声データ）に制御データ等を付加し、スクランブル等を付与した後に、同期信号等を付加して1スロット分の送信データを生成する。そして、この送信データを所定のタイミングでフレーム内の所定スロットに挿入し、上述した送信側モデムに出力する。送信側通信制御部は、また、バックアップ用スイッチの操作情報が操作部131から与えられると、携帯電話機11自身の電話番号及びパスワードを上記態様で送信側モデムに出力する。そして、センタ5側から上記バックアップデータの転送許可が得られた旨の通知を受信側通信制御部から受けると、記憶部171から上述したバックアップデータを読み出し、上記各データを、送信側モデムから送信側周波数変換部及びアンテナ71を介してセンタ5側に送信する。送信側通信制御部は、また、上記バックアップデータのセンタ5側への転送を終了すると、演算処理部を通じて表示部111に『転送終了』を表示させる。送信側通信制御部は、更に、バックアップデータ転送要求用スイッチの操作情報が操作部131から与えられると、その転送要求と携帯電話機11自身の電話番号及びパスワードを上記態様で送信側モデムに出力する。受信側通信制御部は、上述した受信側モデムから出力される受信データより所定のタイミングで1スロット分のデータを取り出し、このデータの中から同期信号を抽出してフレーム同期信号を生成する。そして、このフレーム同期信号を形成する制御データ及び音声データのスクランブル等を解除した後、制御データについては演算処理部に、音声データについては音声処理部151に夫々出力する。受信側通信制御部は、また、センタ5側から上述した信号伝送経路を通じて上記バックアップデータの転送許可の通知を受けると、その旨を送信側通信制御部及び演算処理部に伝える。受信側通信制御部は、更に、アンテナ71、受信側周波数変換部、及び受信側モデムを通じてセンタ5側から与えられた上記バックアップデータを、

記憶部171のRAMに書き込む。

【0030】移動体通信網3は、有線ネットワークである公衆電話回線網、及び無線ネットワークで構成されている。

【0031】移動体通信網3には、有線ネットワークを介して各携帯電話機11～1n間、又は各携帯電話機11～1nと複数の通常の電話機（図示しない）間を接続するための複数の無線基地局（図示しない）が設置されている。また、移動体通信網3には、各携帯電話機11～1n間での通信や、各携帯電話機11～1nと通常の電話機との間の通信等を管理、制御するための施設（図示しない）や、以下に詳述するセンタ5も設置されている。

【0032】センタ5は、図示のように、アンテナ25と、送受信部27と、記憶部29と、制御部31とを備える。

【0033】送受信部27は、制御部31の管理下で、各携帯電話機11～1nのいずれかから無線送信された、住所録や行動のスケジュール等のバックアップを必要とする各種データ（バックアップデータ）を、それらの送信元を示す電話番号及びパスワード等のデータと共にアンテナ25を通じて受信する。そして、それらのデータを復調した後、制御部31に出力する。送受信部27は、また、各携帯電話機11～1nのいずれかからバックアップデータの転送要求が転送先を示す電話番号及びパスワード等のデータと共に送信されてくると、それらをアンテナ25を通じて受信し、復調した後、制御部31に出力する。送受信部27は、更に、バックアップデータと、転送先を示す電話番号及びパスワード等のデータとが、制御部31から出力されると、これらを変調した後、アンテナ25を通じて転送先の携帯電話機（11～1nのいずれか）へ無線送信する。

【0034】制御部31は、上記復調されたバックアップデータ、電話番号及びパスワード等が送受信部27から与えられると、予め記憶部29の所定記憶領域に格納されている電話番号データ及びパスワードデータを読み出して、上記電話番号及びパスワードが正当なものか否かをチェックする。このチェックの結果、正当であると判定したときは、上記バックアップデータを、上記電話番号データ及びパスワードデータに対応付けて記憶部29の所定記憶領域に格納する。

【0035】制御部31は、また、上記復調されたバックアップデータの転送要求、転送先を示す電話番号及びパスワード等が送受信部27から与えられると、上記と同じ態様で転送先を示す電話番号及びパスワードが正当なものか否かをチェックする。このチェックの結果、正当であると判定したときは、転送要求に対応するバックアップデータを記憶部29から読み出して、転送先を示す電話番号及びパスワード等と共に送受信部27に出力する。

【0036】記憶部29は、上述したバックアップデー

タ等のバックアップメモリとして機能するもので、各携帯電話機11〜1n毎に設定されている電話番号データ及びパスワードデータを予め記憶すると共に、制御部31から与えられる上記バックアップデータ等を各携帯電話機11〜1nに対応付けて記憶する。記憶部29は、制御部31からのバックアップデータ読み出し要求に応じて対応するバックアップデータを制御部31に出力する。

【0037】図2は、携帯電話機11がバックアップデータをセンタ5に転送するときの処理動作を示すフローチャートである。

【0038】図2において、携帯電話機11のユーザが操作部131のバックアップ用スイッチを操作することによって、携帯電話機11は、バックアップデータの転送モードになる(ステップS41)。次に、センタ5を呼出すことにより、携帯電話機11とセンタ5との間を接続する(ステップS42)。この状態で、ユーザが携帯電話機11の電話番号及びパスワードを入力すると(ステップS43、S44)、これらのデータが移動体通信網3を通じてセンタ5へ送信される。センタ5側の制御部31が上記電話番号及びパスワードの正当性を確認したことにより、センタ5側から転送許可の通知が送信されると(ステップS45)、携帯電話機11側の制御部231は記憶部171に記憶されているバックアップデータをセンタ5側へ転送する。転送された上記データは、制御部31により記憶部29に格納される(ステップS46)。そして、上記転送が終了すると、携帯電話機11の表示部111に『転送終了』を表示する(ステップS47)。

【0039】ステップS45において、上記正当性が確認できなければ、バックアップデータの転送は許可されず、ステップS41で設定されたバックアップデータの転送モードは解除される。

【0040】図3は、携帯電話機11がセンタ5からバックアップデータの転送を受けるときの処理動作を示すフローチャートである。

【0041】図3において、携帯電話機11のユーザが操作部131のバックアップデータ転送要求用スイッチを操作することによって、携帯電話機11は、センタ5から転送されるバックアップデータを受信するモードになる(ステップS51)。次に、センタ5を呼出すことにより、携帯電話機11とセンタ5との間を接続する(ステップS52)。この状態で、ユーザが携帯電話機11の電話番号及びパスワードを入力すると(ステップS53、S54)、これらのデータが移動体通信網3を通じてセンタ5へ送信される。センタ5側の制御部31が上記電話番号及びパスワードの正当性を確認したことにより、センタ5側から上記転送要求に対応するバックアップデータが送信されると(ステップS55)、それを携帯電話機11側で受信し、携帯電話機11側の制御部231は、そのバックアップデータを、記憶部171に格

納する(ステップS56)。そして、上記転送されたバックアップデータの記憶部171への格納が終了すると、携帯電話機11の表示部111に『転送データ格納終了』を表示する(ステップS57)。

【0042】なお、ステップS55において、上記正当性が確認できなければ、上記転送要求は認められず、従ってセンタ5側から携帯電話機11に対する上記バックアップデータの転送は行われない。

【0043】以上説明したように、本発明の一実施形態によれば、ユーザが携帯電話機11を紛失した場合でも、その携帯電話機11の記憶部171に蓄積しておいた各種データを予めセンタ5に転送して、その記憶部29に格納しておくことにより、上記データを確実に回復することができる。

【0044】また、センタ5の制御部31は、バックアップデータの転送要求に付随して送信されてきた電話番号及びパスワードの正当性をチェックし、正当であることが確認できれば、転送要求に対応するバックアップデータを送信することとした。そのため、他の携帯電話機12〜1n所有者に予め携帯電話機11所有者が自身の電話番号及びパスワードを知らせておけば、携帯電話機11を操作しなくても、自身のバックアップデータをセンタ5から直接他の携帯電話機12〜1nへ転送できるので、非常に便利である。

【0045】上述した内容は、あくまで本発明の一実施形態に関するものであって、本発明が上記内容のみに限定されることを意味するものではない。例えば、上記実施形態では、移動通信機器として携帯電話機を例にとりて説明したが、PHSやポケットベル等の移動通信機器にも、本発明は適用可能である。また、セキュリティの向上を図るために、上記バックアップデータを携帯電話機において暗号化した後に、センタ5側に転送するようにしても良い。更に、センタ5の制御部31が正当であると判定した電話番号及びパスワードを送信してきた携帯電話機が指定するファクシミリ端末に対しても、上記バックアップデータを送信することも可能である。

【0046】なお、上記実施形態では、センタ5を独立に設けることとして説明したが、無線基地局や移動体通信網3を管理、制御するための施設内に設置することとしても勿論差支えない。

【0047】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、バックアップ情報を、指定された1又は複数の移動通信機器へ転送できるようにすることができる。

【0048】また、本発明によれば、移動通信機器を紛失した場合でも、その移動通信機器に蓄積しておいた情報を確実に回復できるようにすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係る移動通信機器のメモリバックアップシステムの全体構成を示すブロック図。

【図2】携帯電話機がバックアップデータをメモリバックアップセンタに転送するときの処理動作を示すフローチャート。

【図3】携帯電話機がメモリバックアップセンタからバックアップデータの転送を受けるときの処理動作を示すフローチャート。

【符号の説明】

11～1n 携帯電話機

3 移動体通信網

5 メモリバックアップセンタ (センタ)

71、25 アンテナ

91、27 送受信部

111 表示部

131 操作部

151 音声処理部

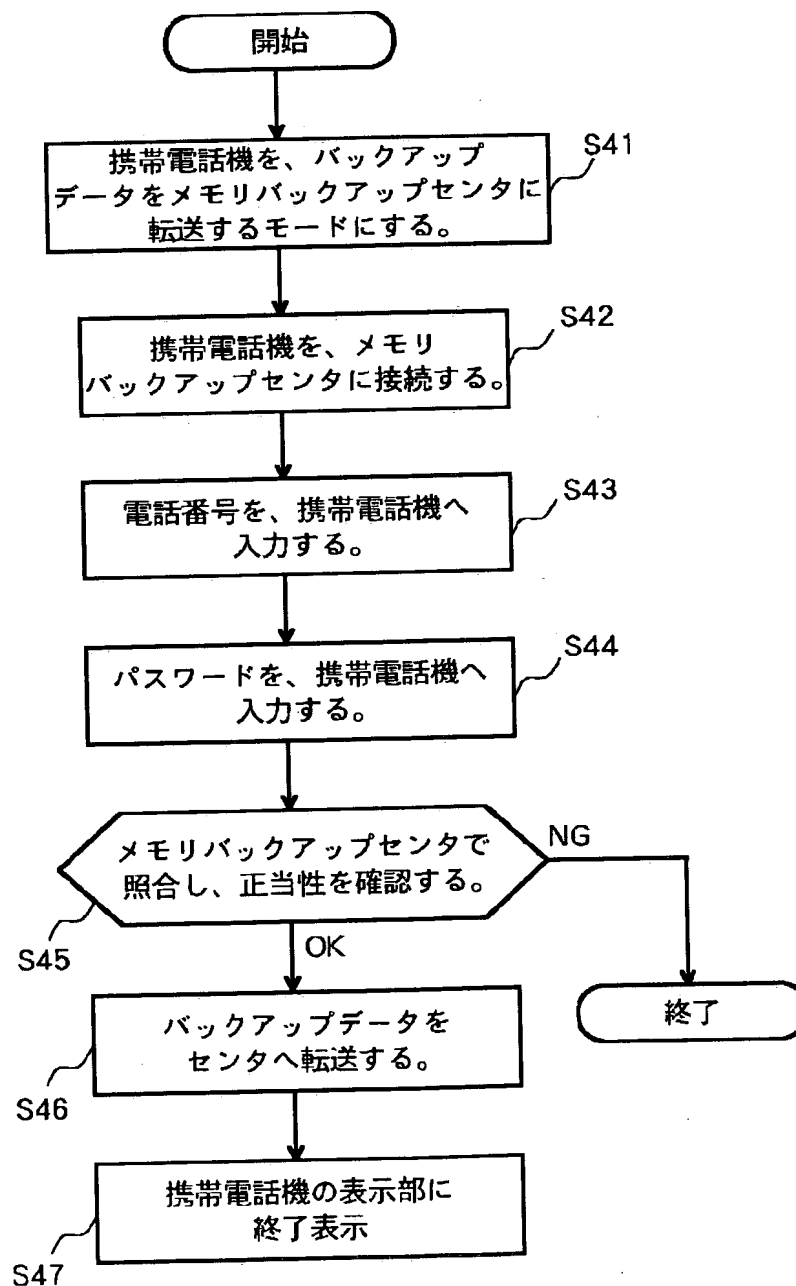
171、29 記憶部

191 マイク

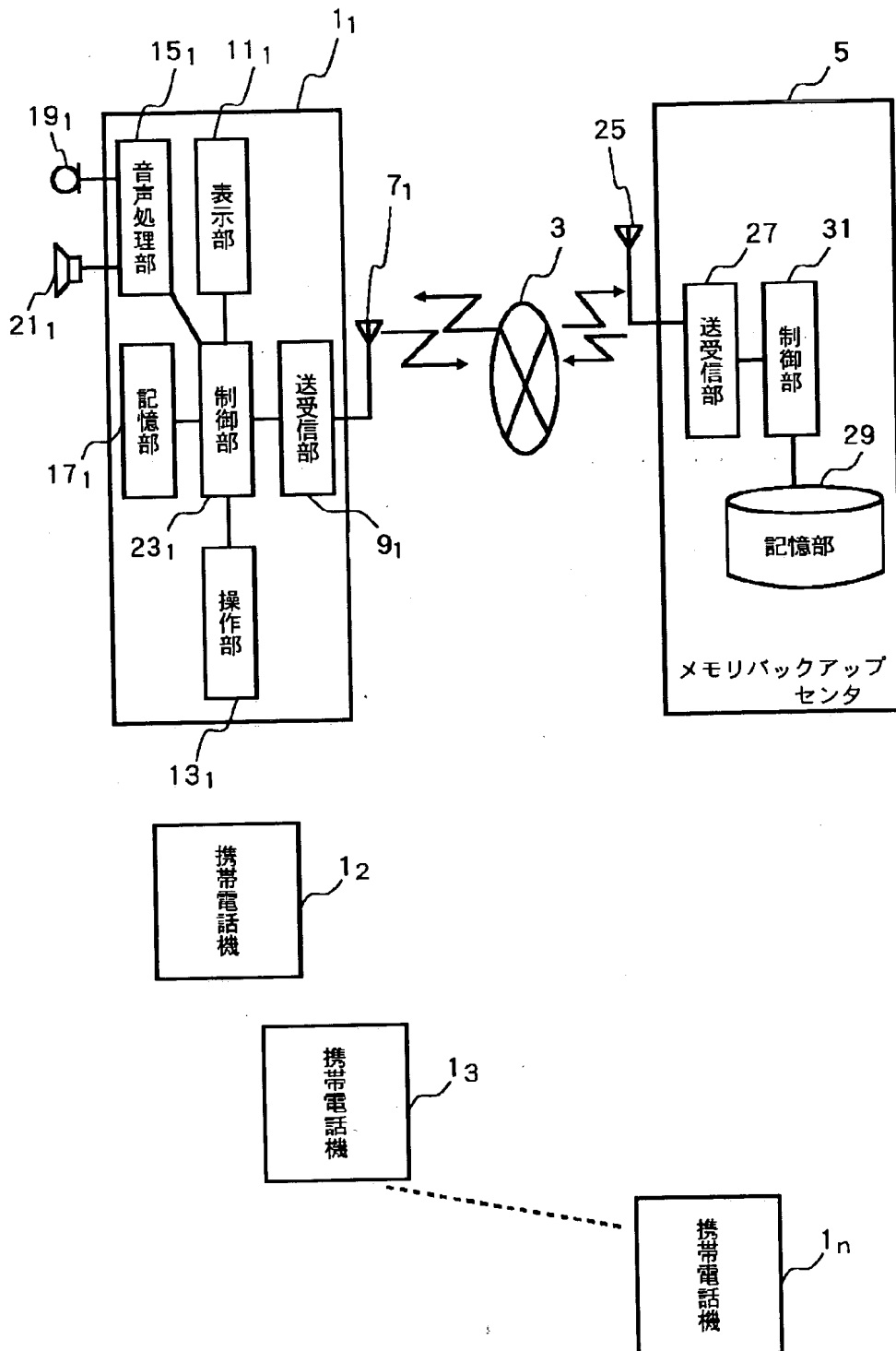
211 スピーカ

231、31 制御部

【図2】



【図1】





【図3】

